

達成度：H30.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
 4 目標を概ね達成した。
 3 目標を一部達成した。
 2 目標をほとんど達成できなかった。
 1 目標をまったく達成できなかった。

生涯学習課の目標（平成29年度）自己評価書

生涯学習課長 福田 良二

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
1 生涯学習の推進（社会教育班） 生涯学習を推進するため、生きがいを大切にする人生や仲間づくりを育むための自立的な自己教育と相互教育を基本にしたコミュニティ形成につながる地域の人材の育成を目的に家庭、学校、地域、各種団体、行政が連携した各種事業を実施します。 ①生涯学習推進事業 ・家庭教育推進事業 家庭教育学級（直営事業、小中学校への設置） ・成人教育推進事業 実行委員会形式 成人式（20歳）、盛年式（60歳） ・人権教育推進事業 人権教育セミナーの開催（年6回 こども、高齢者、障害者、外国人、同和） ・社会教育関係団体育成事業（婦人会、PTA等事業費助成） ・まちづくりフォーラム 住民協働課連携	4	①生涯学習推進事業 ○家庭教育推進事業 ・ローズマリー学級…就学前児童の保護者対象（学級生18人）の学習会を11回開催しました。 ・各学校の家庭教育学級…各学校の学級生は、酒々井小26人、大室台小25人、酒々井中16人でした。学習会は各学校7回行いました。 各学級とも親の学びと交流を深めるとともに、家庭での話題の一環となり親子の絆もさらに深めることができました。 ・家庭教育相談の対応…週2回（木・金）に対応しています。平成29年度の相談件数はありませんでしたが、家庭教育学級の学習会時に相談を受けることができました。 ○成人教育推進事業 ・成人式…1月7日、プリミエール酒々井文化ホールにおいて行いました。（参加新成人139人）

		新成人の実行委員による式典の進行、新成人のつどいを実施し、式典では厳粛な雰囲気の中、新成人となる決意を新たにし、新成人のつどいでは恩師や友人との旧交を暖めることができました。 ・盛年式・・・2月25日、中央公民館講堂において行いました。（参加者125名） 人生の節目である60歳を祝うとともに、地域活動への契機の間とすることができました。 ○人権教育推進事業 ・人権教育セミナーの開催・・・平成29年度に6回開催しました。（参加人数延べ925人）あらゆる人権問題の解消を目指し、人権に対する理解を深め、人権意識の向上を図りました。 ・人権教育の啓発活動・・・各学校の人権教育教材として貸し出しを行いました。 ○社会教育関係団体育成事業 町婦人会、町PTA連絡協議会等、各社会教育関係団体の育成を目的に補助金を交付しました。 ○まちづくりフォーラム 町長部局（住民協働課）と連携 ・11月12日に中央公民館とプリミエール酒々井を会場に実施しました。 中央公民館では3つの分科会、プリミエール酒々井では基調講演と各分科会の報告、「地域と創年・子供」と題しシンポジウムを実施しました。町内外合わせて約150名の参加がありました。
--	--	--

②学校・地域・家庭連携事業 1 学校教育支援促進事業 地域ボランティアによる小中学校教育支援 2 土曜日の教育支援体制等構築事業 小学生補習（中央公民館と共同開催） 3 地域未来塾の実施 中学生補習	4 ②学校・地域・家庭連携事業 ○学校教育支援促進事業 ・3校それぞれ支援コーディネーターを中心に、地域住民や保護者の協力を得て、充実した活動を展開しました。児童・生徒にとってより良い学習環境を整えることができたとともに、支援者にとっても自己実現の場となることができました。 ミシン指導の補助やプール監督補助等の授業支援、環境整備、行事での駐車場案内等を行いました。 各校の特色としては、酒々井小学校での昔遊びや社会科学集等における地域住民の支援、大室台小学校でのビオトープ整備や音楽授業支援、酒々井中学校での環境整備支援やホームページ作成があげられます。 ○土曜日の教育支援体制等構築事業（中央公民館と共同開催） ・3・4年生対象の「こども青樹堂」では、児童17名に、全16回の学習会を実施しました。 ・5・6年生対象の「土曜塾」では、児童28名に、全16回の学習会を実施しました。 ・児童からは、授業への理解が深まった・家庭での話題が広がった等の感想が上がり、学力向上を図ることができました。 ○地域未来塾の実施 中学生の希望者を対象に元教員などの地域住民の協力を得て、学習習慣の確立と基礎学力の定着を目的に学習支援を実施しました。 ・実施日 日曜日の午後を中心に年間36回実施
--	--

③青少年健全育成事業 ・子ども会育成会連絡協議会事業 球技大会、体験教室等 ・青少年相談員連絡協議会事業 つり大会、綱引き大会、星空の映写会等 ・陸別町児童交流事業 ・青少年おもてなしカレッジ事業	4 ・申込者数 1年：25人 2年：18人 3年：15人 ③青少年健全育成事業 ○子ども会育成会連絡協議会事業 ・球技大会・・・6月18日、酒々井小学校においてドッジボールを行い、異なる学年や地域の児童たちの交流を図りました。（参加者7チーム70人） ・体験教室・・・12月2日、コミュニティプラザにおいて、火おこし体験やカウボーイパン作り体験を行い、楽しみながら体験学習を行いました。（参加者95人） ○青少年相談員連絡協議会事業 ・7月22日に星空の映写会を行いました。 紙芝居の会による紙芝居上映のあと、「ペット」の上映を行い、夜の戸外での映写会という体験を親子・友達同士で楽しむことができました。 ・10月8日に酒々井中学校において綱引き大会が行われ、23チーム183人の参加があり、チーム一丸となって協力しあう体験ができました。 ○陸別町児童交流事業 ・8月23日～25日に町内の小学6年生20名を対象に北海道陸別町における陸別町役場表敬訪問や陸別小学校の児童たちとの交流、自然体験等を実施しました。事前学習や訪問を通して一人ひとりが自覚と責任感をもって積極的に活動することができ、大きく成長することができました。 ○青少年おもてなしカレッジ ・町内小学4年生から中学2年生まで15名の参加者を対象に全10回の学習会を開催し、酒々井町の歴史・観光・
--	---

④同和対策集会所事業 ・学力向上学級 ・生け花教室 2 文化財班 酒々井町の地域資源である歴史と文化を守り育て伝えるとともに観光・交流に資する事業を行います 史跡本佐倉城跡の保存整備と活用、旧酒々井宿周辺の保存・整備を図るまちの顔づくり推進事業、墨古沢南Ⅰ遺跡の保存整備事業を継続して進めます。また酒々井ⅠCの開通、アウトレットの開業以降、開発事業が著しく増加しており、埋蔵文化財の保護事業を円滑に実施します。 ①文化財保護事業 ・埋蔵文化財調査 開発にともなう試掘等の発掘調査を実施します。	4 文化や、福祉、防災、国際交流などの理解を深めることが出来ました。また、町行事でもある、千葉氏まつりやまちづくりフォーラムへの参加も積極的に行うことにより、おもてなしの心や酒々井町の素晴らしさについて学ぶことが出来ました。 ④同和対策集会所事業 ○学力向上学級 酒々井小児童2名、酒々井中学生2名を対象に、同和対策集会所において毎月2回学習会を行い、学力向上を図ることが出来ました。 ○生け花教室 佐藤キヨ子先生による生け花教室を、地区の成人を対象に毎月2回行い、交流と心豊かな空間を提供することが出来ました。 酒々井町の歴史と文化を守り育て、観光・交流に資する事業を行うとともに、史跡本佐倉城跡保存整備事業、まちの顔づくり推進事業、墨古沢南Ⅰ遺跡保存整備事業、埋蔵文化財の保護事業を円滑に実施しました。 4 ①文化財保護事業 ・引き続きアウトレット、酒々井ⅠCの開業以降、開発事業に伴う試掘等の発掘調査が増加しており、平成29年度は25件の調査等を取扱いました。
--	---

・史跡ウォーキング 町内に数多く所在する文化財をめぐるウォーキング事業を各種団体と協働で実施します。 ②まちの顔づくり推進事業 江戸時代に栄えた旧酒々井宿を「酒々井町の顔」として町並み保存・整備を進めるため、平成 28 年度に引き続き地方創生交付金を活用して交流支援拠点整備マスタープランの作成を実施します。 ③本佐倉城跡保存整備事業 東山馬場の指定地外部分を入口広場（トイレ・管理詰所・倉庫・駐車場等）として整備を行うために進めている入口広場整備事業を継続して行います。平成 29 年度はトイレ・管理詰所等建築工事に先立つ、上水道引込み工事及び設計作業を実施します。また一部未公有地となっている国史跡内用地について、城跡の保存を確実にするため、公有地化を行います。 普及事業としてはボランティアガイドと協働し本佐倉城跡見学会を実施するほか公民館、本庁舎玄関で本佐倉城跡の展示を継続して行います。 ④墨古沢南Ⅰ遺跡保存整備事業 約 3 万年前の酒々井町最古の人類生活痕跡であり、下総台地を中心として特徴的に検出され、旧石器時代の人々の生活やムラの様子を示す重要な資料として注目されている墨古沢南Ⅰ遺跡出土の「環状ブロック群」の残り東半分について発掘調査を行い、その遺存状況や規模・内容を把握し、全国初かつ日本最大級の「環	4 3 4	・本年度より実施主体を酒々井ふるさとガイドの会に移行し、10 月 28 日に開催しました。15 名の参加がありました。 ②まちの顔づくり推進事業 旧酒々井宿について「酒々井町の顔」として町並み保存・整備を進めました。 ・地方創生交付金を活用して交流支援拠点整備マスタープランの作成(H28・H29年で継続)を委託により実施し、「酒々井町歴史文化保存活用基本計画」としてまとめました。 ③本佐倉城跡保存整備事業 ・入口広場整備事業の一環として上水道の敷設工事を実施予定でしたが、詳細設計を委託により行ったところ、当初の想定予算より多額の費用がかかることが判明したため、工事は来年度実施することとなりました。 ・一部未公有地となっていた国史跡内用地（1 筆・839.63 m²）について公有地化を行いました。 ・普及事業 酒々井町と佐倉市の共催で、3 月 11 日に両ボランティアガイドの協力により現地見学会を開催し、110 名の一般参加がありました。また中央公民館のロビー及び本庁舎玄関での展示を継続して行いました。 ④墨古沢南Ⅰ遺跡保存整備事業 全国初・日本最大級の「環状ブロック群」の遺跡として国史跡指定を目指した保存整備事業を進めました。 ・10 月より 3 ヶ月間、本年度は平成 27 年度の補足調査や北側・南側の範囲確認調査を補助金を活用して実施し、環
--	----------------------------	--

状ブロック群」としての国史跡指定を目指した保存整備事業を継続して進めていきます。 発掘調査 3 か年目となる平成 29 年度は、平成 27 年度に調査を行った環状ブロック群本体東側の補足調査や北側・南側についての広がり把握のための範囲確認調査を実施します。また、今後の調査・整備を的確に進めるため、昨年度発足した有識者による調査指導委員会を継続して開催します。 周知・普及事業としては、墨古沢南 I 遺跡及び奈良二彩の展示会をコミュニティプラザ等で実施します。	状ブロック群全体の分布範囲の限界をとらえることができました。これにより規模が南北 67m×東西 60mであることが判明しました。 ・今後の調査・整備を的確に進めるため、有識者による調査指導委員会を継続して開催し、今後の調査・研究に係る課題の整理・検討等を行いました。 ・補助金を活用し、墨古沢南 I 遺跡の展示会を 9 月からコミュニティプラザにて、奈良二彩の展示会を 8 月から中央公民館ロビーにて開始し、現在も継続して行っております。
3 スポーツ振興班 町民のニーズにあったスポーツ・レクリエーションを展開するとともに、健康づくりや仲間づくりの場を提供し、健康増進・体力の維持向上を図ります。 ①生涯スポーツの推進 ・スポーツ推進委員事業 誰でも気軽に取り組める軽スポーツの普及を図ります。 ライトスポーツクラブ（毎週水曜日 19：00～酒々井中学校で開催予定） ウォークラリー大会（5 月 21 日開催予定） ②連携・協働によるイベント事業 ・スポーツ・レクリエーション祭（10 月 8・9 日開催予定） 各種体育団体等が中心となり、実行委員会を組織し企画・運営を行います。 ディスクゴルフ、グラウンドゴルフ、ソフトバレー、バドボン、インディアカ、綱引き、健康づくりコーナー、昔の遊びコーナーなど	スポーツ・レクリエーション事業を実施し、健康づくりや仲間づくりの場を提供し、健康増進・体力の維持向上を図りました。 4 ① スポーツ推進委員・生涯スポーツの推進事業 ・ライトスポーツクラブは、毎週水曜日に軽スポーツを中心に事業を実施しました。 （48 回開催 参加者延べ 853 名（前年比 322 名減）） ・ウォークラリー大会は、5 月 21 日に開催しました。 （参加者 34 組 120 名（前年比 41 名減）） 4 ② 連携・協働によるイベント事業 ・スポーツ・レクリエーション祭 各種体育団体等が中心となり実行委員会を組織し、10 月 8、9 日に開催しました。 ソフトバレー、バドボン、インディアカ、綱引き、健康づくりコーナー、昔の遊びコーナー、グラウンドゴルフ・デ

・町長杯パークゴルフ大会（11月11日開催予定） パークゴルフ団体の協力のもと実行委員会を組織し、大会を開催します。 ・順天堂大学連携事業生涯学習公開講座 親子スポーツ教室（全4回・11月開催予定） おとなも体力測定（11月開催予定） ノルディックウォーク教室（11・3月開催予定） ③競技スポーツの向上 ・体育協会が中心となり、各種スポーツ大会を開催し競技力の向上を図ります。 卓球・バレーボール・バドミントン・野球・少年野球・ソフトボール・ソフトテニス・テニス・ゴルフ・空手・剣道・少年サッカー ・印旛郡市民体育大会への参加及び選手派遣を行います。全17競技25種目	イスクゴルフを実施しました。（参加者延べ436名（前年比11名増））また健康づくりコーナーの中に、順天堂大学の協力により、ロコモ度チェックコーナーを実施しました。 ・町長杯パークゴルフ大会 町・パークゴルフ競技団体で実行委員会を組織し、11月11日に開催しました。 （参加者163名 前年比21名増） ・順天堂大学連携事業生涯学習公開講座 親子スポーツ教室を10月22日（レクリエーション）、10月29日（ダンス）、11月12日（バスケットボール）、11月19日（サッカー）の全4回実施しました。 （参加者14組37名 前年比6名増） おとなもスポーツテストを11月5日酒々井中学校体育館（参加者14名）で、また、ノルディックウォーキング教室を2月17日と3月17日の2回開催しました。（参加者52名） ・カヌー教室 NPO法人ドラゴンカヌーさかえの協力のもと、ドラゴンカヌー親子体験教室を9月10日に開催しました。（参加者8組19名） 4 ③ 競技スポーツの向上 ・体育協会が中心となり、各種スポーツ大会・教室を開催し、競技力の向上を図りました。（卓球・バレーボール・バドミントン・野球・少年野球・ソフトテニス・テニス・ゴルフ・空手・剣道・少年サッカー 参加者2,610名（前年比131名増） ・印旛郡市民体育大会への参加及び選手の派遣を行いました。（7月1日～8月26日開催 全17競技25種目中24競
--	---

④ 体育施設の有効活用と学校開放 ・既存体育施設・学校開放施設を効率的かつ有効に活用しながら、スポーツ・レクリエーションに親しむ場の提供を行います。	4	技に 248 名を派遣。) ④体育施設と学校開放施設の貸し出し ・墨スポーツ広場・中央台公共用地・学校開放施設を効率的かつ有効に活用し、スポーツ・レクリエーションに親しむ場を提供しました。(利用登録団体：54 団体 1,417 名)
---	----------	--